



札幌隊友会「隊友の集い」参加

平成二十九年二月四日、札幌地方隊友会、隊友の集いに北川支部長以下五名が出席し交流を深めた。若月札幌地方隊友会会長の挨拶に続き、来賓甲斐第十一旅団長が次のように挨拶された。
「近年の日本を取り巻く厳しい国際情勢の中で、国の安全を保つ為、旅団は厳しい訓練を行っている。今日も第十普通科連隊(滝川)の冬季訓練検閲を済ませてきたばかり。今年度、若い隊員(新隊員教育を終えた六十名)が訓練検閲に参加し、重い荷物を背負い、慣れないスキー行進に歯を食いしばり山坂を登り、下りでは転げ落ちながらも二十五kmを踏破した。荒れ狂う吹雪の中で視察した旅団長でさえ吹き付ける雪・風で顔が痛くなるほどの悪条件の中を頑張っていた。夜間、普通であれば天幕宿営と思われたが、雪穴にシートをかぶせた簡易掩体で一夜を過ごし、早朝の主陣地攻撃に向かって行った。何名かは風邪をひいたり体調不良で落伍するであろうと予想したが、ひとりの落伍者もなく見事に訓練を乗り切った。遅く若者が育っている。若い力の素晴らしさを感じた」と、精強十連隊が紹介された。



◎支部次年度事業構想決まる

平成二十九年三月十一日 本部役員会において次年度の事業計画(案)の策定に入った。特に今年度から平成二十八年年度本部定期総会決議事項である終身会員制度の廃止と新たな会費制度の運営に伴う会費の管理要領について確認した。



新たな会費制度

- 一 終身会員について
平成二十九年四月一日以降、「終身会員」廃止、それ以前の終身会員は引き続きその身分を保障される。
- 二 一括前納制度について
会員は、希望に応じて十年、十五年、二十年のいずれかの期間を選択し、その期間の年会費を一括前納することが可能となった。その場合の特典として総額の10%を割り引いた会費を収めることとなった。

定期異動に伴う送別会

平成二十九年三月十五日、春の定期異動に伴う自衛隊協力会・修親会合同による送別会が、滝川隊区連合会長前田滝川市長はじめ内外から127名が出席し、盛大に送別の宴がおこなわれた。異動者は次の通り



活動予定では、駐屯地創立記念行事、支部対抗バークゴルフ大会、スポーツ交流会、ブロック研修会、防衛セミナー、支部隊友の集いなど、例年の事業のほかにアンケート結果に基づき新たな事業も現在検討中である。
四月二日の全体役員会議を経て五月予定の総会で提案審議される。



◎雪像作成隊を激励・慰問

平成二十九年一月二十日(金) 北川支部長は、第二十六回新十津川雪祭りにメイン会場となる「国際中華鍋押し撲選手権」などの大小三基の雪像を作成している雪像隊を激励・慰問した。
第二中隊秋吉雪像作業隊長以下二十一名が二十九日の祭りに間に合うよう急ピッチで作業をすすめていた。この日はマイナス十度、水を触るのはちよと...
そんな冷たさを想像します。この厳しい寒さもなんのその、訓練の賜物です。



午後六時三十分からマリアージュインベルコで行われた送別会では、滝川しづき太鼓の勇壮な送別太鼓の演奏が披露され、最後は恒例の「同期の桜」の合唱で見送られて八時三十分会場を後にした。また、今年度定年退官される見澤・金子両氏が合わせて紹介された。
滝川駐屯地での勤務ご苦労様でした。



- | | | |
|--------|-------|---------|
| 十普連 | 佐々木辰弥 | (遠軽へ) |
| 十普連 | 笹本 拓也 | (真駒内へ) |
| 十普連 | 山崎 正典 | (美唄へ) |
| 滝駐業 | 小笠原桂一 | (真駒内へ) |
| 滝駐業 | 佐藤 大介 | (札幌へ) |
| 滝駐業 | 小貫 秀明 | (札幌へ) |
| 三四五会計 | 椎森 章悟 | (丘珠へ) |
| 三四五会計 | 加藤 淳樹 | (函館へ) |
| 第十一後支隊 | 岩本 義徳 | (稚内へ) |
| 滝駐業 | 塩飽 恵理 | (真駒内へ) |
| | | (上富良野へ) |

◎ 曹友会との親睦交流会

平成二十九年一月二十一日、隊友会滝川支部と滝川駐屯地曹友会の親睦交流会を松尾ジンスコカンで開催しました。二十四日まで駐屯地招集訓練に参加中の予備自衛官を含め総勢三十名が舌鼓を打ちながら、和やかなうちに親睦を深めました。年に一回行つて、この交流会の目的は、会勢拡大策の一つとして、いずれ定年退職を迎える事となる陸曹の皆様と一足先に社会に出ている隊友会員が一般社会の情報を分かち合い交流を深めて将来隊友会員として活躍していただける雰囲気醸成にある。



◎ 定年退職者に隊友徽章送る

平成二十九年一月十日と二月六日、滝川駐屯地定年退職者紹介行事において、柴尾副支部長が定年退職者に隊友会員徽章を送り入会を促進した。支部が平成二十七年から会勢拡大施策の一つとして定年退職予定者に隊友き章を贈り、入会定着を図っている事業で今年で三年目となる。

今年には暖冬と言われ、比較的暖かな朝とはいえ、マイナスの世界、ピリツと背筋が伸びる。

退職する四人は全て隊友会員として入会し、自衛隊との架け橋となり、活躍することを期待・確信した紹介行事となった。新しい会員が徐々に増えつつある。

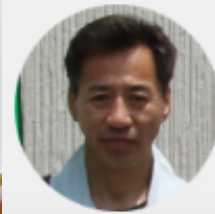


◎ 趣味の庭

「麻生副支部長作成マグカップ」

「ごっこつ・がっしり・・・。屯田窯さんの器の印象です。しっかり土までこだわって時間をかけて焼き上げた器の力強さを感じます。こういう骨太の器は最近見ないなあ、と思います。でも見た目のハードな仕上がりとは対照的にシンプルでとても使いやすい大きさ、安心して持つことが出来る形になっています。素直な「器らしい器」です。

このマグカップは、当支部麻生副支部長自慢のカップです。陶芸の趣味が今や品評会で入選するなど実績を積み重ねています。



◎ OB 職場訪問

今日は、二年前の平成二十七年三月から丸加高原伝習館で施設管理運営・経営企画業務係として勤務している鈴木利夫会員を突撃訪問しました。

「日本で最も美しい村」に位置する丸加高原で自然観察。冬はスキー・スノーシューで高原散策、夏は丘陵地を生かしたウォーキング、一年を通して楽しめるという素晴らしい環境で勤務しています。

写真が趣味で特に丸加高原周辺の動植物・風景を撮るのが好きで、職場のフェイスブックにも飾っています。

また伝習館では、地元の材料を使ってストラップ作りや草木染、マイ箸作りができる自然工作コーナーがあります。特に最近では手軽で親子でも簡単に作れると、密かなブームになってるらしく、なかなかの好評らしい。



皆さんもオンネーム入りマイ箸一膳いかがですか？

写真は、鈴木氏が作った箸です。六月からは、各地方からこの素晴らしい環境を楽しみにやってくるオートキャンプ場の管理センターの勤務となります。

丸加高原伝習館には是非遊びに来て下さい。



◎ 支部連絡

支部「あゆみ」札幌地方隊友会滝川支部の一年間のあゆみ（出来事、参加した事業）を約二十二分程度にまとめたムービーです。平成二十八年十二月に行われた支部「隊友の集い」で映像公開したものです。ご希望の方に差し上げます。（割出まで）



◎

方面研究演習に対する支援要員募集（防衛支援事業団）は、三月三十日を持って募集を締め切りました。沢山の応募ありがとうございました。

◎ 主な行事予定

- 四月二日 支部役員全体会議
午後五時から「ミシクル」で行います。
- 四月八日 自衛官候補生等「入隊式」
- 六月四日 旅団創立記念日
- 六月十八日 滝川駐屯地創立記念日
- 八月二十日 支部対抗パークゴルフ大会

☆ 計報

- 三月六日 福永明彦氏御令室
- 会勢状況 三月三十一日現在 275名